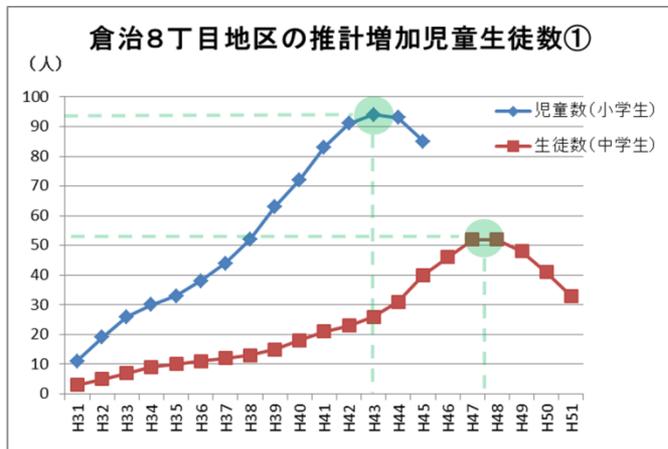


住宅開発に伴う児童生徒数の増加

● 交野市で、計画されている比較的規模の大きい開発である、倉治8丁目地区、星田駅北地区での住宅開発の影響で増加する児童生徒数の教育委員会独自推計を(1)(2)に示す。

(1) 倉治8丁目地区

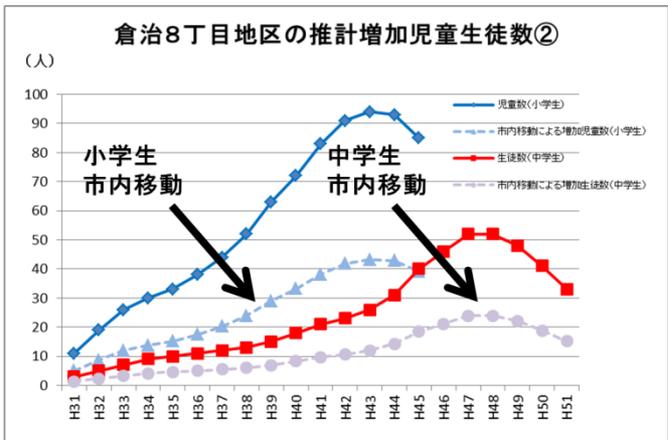


◆ 児童生徒数のピーク

児童数・・・94人(2031年(平成43年))

生徒数・・・52人(2035,36年(平成47,48年))

※H29.3.30時点
住宅数103戸の場合



【住宅購入者の種別と割合】

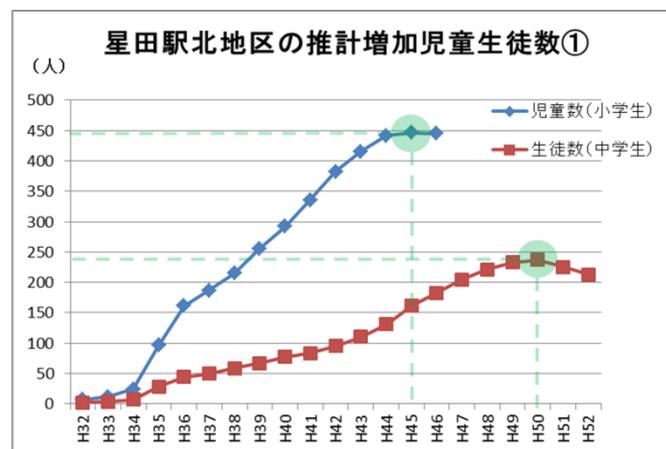
※H29.3.30時点
住宅数103戸の場合

市外からの転入者・・・54%、市内からの転居者・・・41%、その他・・・5%

※その他は、市外居住の男性と市内居住の女性の夫婦が購入した場合など

※市内移動による増加児童(生徒)数は、全体増加数の内数

(2) 星田駅北地区

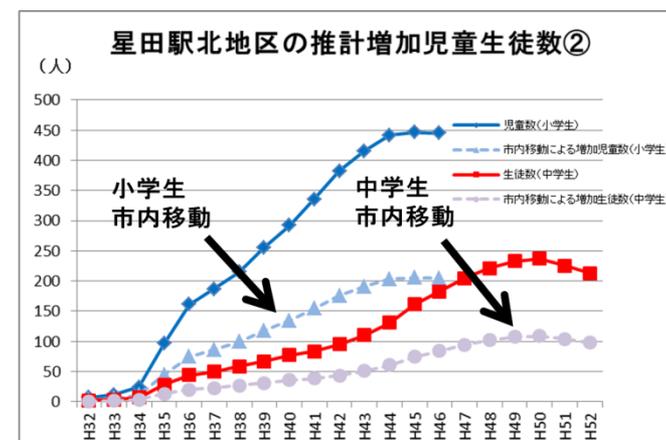


◆ 児童生徒数のピーク

児童数・・・447人(2033年(平成45年))

生徒数・・・237人(2038年(平成50年))

※H29.3.30時点
住宅数540戸の場合



【住宅購入者の種別と割合】

※H29.3.30時点
住宅数540戸の場合

市外からの転入者・・・54%、市内からの転居者・・・41%、その他・・・5%

※その他は、市外居住の男性と市内居住の女性の夫婦が購入した場合など

※市内移動による増加児童(生徒)数は、全体増加数の内数